

- 3 小林登 (2008) 『チャイルドサイエンス 子ども学のまなび』
明石書店 p.34
- 4 Paula S.Fass eds. (2004) Encyclopedia of Children and
Childhood in History and Society New York, vol.2 "History of
Childhood" pp.422~430, vol.3 "Theories of childhood" pp.818
~ 826 なお Childood Studies については、青山学院大学
教育学部教授 北本正章氏より多くの示唆をいただいた。北
本正章 (2009) 「子ども観の社会史研究における非連続と
連続の問題：欧米におけるアリエス・パラダイム以降の諸学
説にみる新しい子ども学の展開と構成」 青山学院大学教育学
会紀要『教育研究』53 参照
- 5 首藤美香子 (2003) 「子ども」の視座の奪還—熊秉真『童
年憶往—中国孩子の歴史』考—「比較家族史研究」第18号
pp.55 ~ 69
- 6 熊秉真 (Hsiung Ping-Chen (2000) 『童年憶往—中国孩子
の歴史 麦田出版』 Hsiung Ping-Chen (2005) A Tender
Voyage: Children And Childhood in Late Imperial China,
Stanford Univ. Press
- 7 熊秉真 (2000) p.23

表紙によせて

『地域と子ども学』創刊号と第2号は、本学園の委託事業である東村山市にある子育て支援センターの「ころころの森」を掲載しました。

今回は、地域交流研究センターを特集するにあたり、本学園の地域を象徴している玉川上水の風景をとりあげました。

春夏秋冬思いがけない美しさの風物誌に育まれながら本学園と地域との交流を発展させていきたいと願っています。

表紙の英語表記の訂正とお詫び

本誌創刊号の英語表記が Community and Child Studies であるのに、第2号では Community and Child Science となっておりました。Community and Child Studies が正式英語表記となります。ここに訂正とお詫びを申し上げます。